

Table with 6 columns: 事務事業名, 会計名称, 総合計画での位置づけ, 事業の性格, 事業の対象, 事業の目的, 改善策の具体的な取り組み(当初), 改善策の具体的な取り組み(二次評価後). Content includes 'ヘルスアップ(運動指導)委託事業', '一般会計', '誰もが安心して暮らせる健康福祉のまち', '内部管理事務', '法定事務', '健康増進法', '平成 21 年度', '物袋 由美子', '福島 征一', '運動指導を中心とした、住民の健康増進及び疾病改善等', '健康増進法', '年間延利用者数', '年間新規利用者数', '広報や有線放送を利用した啓発、長期未利用者へのダイレクトメール送付など'.

Table with 2 main sections: '事業費及び財源内訳 (千円)' and '事業活動の実績 (活動指標)'. The first section has columns for '項目', '20 年度決算', '21 年度予算', '9月末の執行状況', '21 年度決算'. The second section has columns for '項目', '単位', '20 年度実績', '21 年度予定', '9月末の実績', '21 年度実績'. Data includes '直接事業費 9,799', '年間延利用者数 5476', '年間新規利用者数 147'.

Table showing '向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)' with columns for '22 年度', '23 年度', '24 年度', '25 年度', '26 年度', and '5年間の合計'. Values are 9,799, 9,799, 9,799, 9,799, 9,799, and 48,995 respectively.

Table for '成果指標' and '指標設定の考え方'. '成果指標' includes '年間延利用者数を毎年200人以上増加させる'. '指標設定の考え方' includes '新規利用者数の増及び継続利用数の増を図るにあたって、双方の数が含まれる項目を指標とした'. A chart shows '実績' (5426, 5545) and '目標' (5400, 5500, 5700, 5900) for years 20, 21, 22, and 23.

Table for '今年度の課題への対応状況 (途中経過)'. Content: '広報や有線放送でのPR、長期未利用者へのダイレクトメール送付を実施した。'

Large table for '事業の自己評価(担当責任者)' and '一次評価(所属長)'. It contains multiple rows for '目的の妥当性', '市民ニーズへの対応', '市の関与の妥当性', '事業の効果', '成果向上の可能性', '施策への貢献度', '手段の最適性', 'コスト効率', and '受益者負担の適正'. Each row includes a score (e.g., 3, 4) and a grade (e.g., C, B, A). A large arrow points from the '指標設定の考え方' table to this section. The right side contains '自己認識' and '所属長の課題認識' with descriptive text.

事務事業名	ヘルスアップ(運動指導)委託事業	予算事業名		担当課	健康福祉課
会計名称	一般会計	予算科目	4 款 1 項 5 目	所属長名	物袋 由美子
総合計画での位置づけ	誰もが安心して暮らせる健康福祉のまち			担当責任者名(記入者)	福島 征一
				電話番号(内線)	
事業の性格	内部管理事務	法定事務	法令根拠等	健康増進法	
事業の対象	原則として20歳以上の住民		実施期間	【開始年度】	平成 21 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) 設定なし
事業の目的	運動指導を中心とした、住民の健康増進及び疾病改善等		事業の内容	ヘルスC&Cセンター内フィットネスルームに健康運動指導士等が常駐(月・水・金10:00-21:00)し、運動指導やエクササイズ指導にあたる。また年3回体力測定を実施する。	
改善策の具体的な取り組み(当初)	新規及び延利用者数の増を図る。		改善策の具体的な取り組み(二次評価後)	広報や有線放送を利用した啓発、長期未利用者へのダイレクトメール送付など	

(自己評価)	妥当性	目的の妥当性	3	C	C	3	目的の妥当性	妥当性	一次評価			
		市民ニーズへの対応	3							3	市民ニーズへの対応	
		市の関与の妥当性	3							3	市の関与の妥当性	
	有効性	事業の効果	3	C		B	4	事業の効果		有効性		
		成果向上の可能性	3								4	成果向上の可能性
		施策への貢献度	3								4	施策への貢献度
	効率性	手段の最適性	3	C		C	3	手段の最適性		効率性		
		コスト効率	3								3	コスト効率
		受益者負担の適正	3								3	受益者負担の適正
課題認識	疾病改善については、利用者の利用情報とC&Cセンターが保有する健診データのリンケージを図り、改善状況の確認を実施することが望ましいと考える。				自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。				健康増進や生活習慣病予防を目的として実施し、特定保健指導等での利用で検査データの改善がみられている。利用促進とともに、生活習慣病予防への効果をどうアピールしていくか、が課題であると思うが、利用促進の推進が図られており、実績もあがりつつある。			

施策を踏まえた判断	二次評価	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。	
		健診後のフォローアップに活用できている		
		一次評価結果のとおり事業継続と判断する。		
		一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。		一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。
		住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。		外部評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日
一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。				
一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。				

外部評価委員会の判断	外部評価	良く活動を実施しており、予防医学の見地からも今後も推進するべきである。ただし、町民の利用増加に努めるため利用者アンケート及び無料体験コース等のPR活動に取り組むことが必要である。
------------	------	---